

報道関係各位

## 【武蔵野美術大学】和菓子をテーマとした器の企画展示「うつわと和菓子」

### 中高生向け特別ワークショップも同時実施！

武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科（所在地：東京都小平市/学長：樺山祐和/主任教授：山中一宏）は、2026年5月9日(土)～5月16日(土)に鷹の台キャンパス、5月29日(金)～5月31日(日)に市ヶ谷キャンパスにて、企画展「うつわと和菓子」を開催します。



#### 概要

武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科クラフトデザインコース陶磁専攻の学生16名が、老舗和菓子屋「とらや」の菓子を題材に制作した器の企画展示です。11回目となる本展示を、武蔵野美術大学鷹の台キャンパス・市ヶ谷キャンパスの両キャンパスにて行います。

本展の作品は、2025年の夏休みに、学生が各地の和菓子店を巡り、知識を深め、和菓子と器との関係を考えるところからスタートしました。

制作では、さまざまな陶芸技法に挑戦しつつブラッシュアップを重ねました。16人それぞれの考える「うつわと和菓子」を、ぜひご覧ください。

## 【開催概要】

### 鷹の台キャンパス：

□会期：2026年5月9日（土）～5月16日（土）

□時間：10:00-17:00

□会場：武蔵野美術大学鷹の台キャンパス 14号館地下展示室（東京都小平市小川町1-736）

□入場無料・事前予約不要

□アクセス：西武国分寺線「鷹の台」駅下車徒歩18分。

JR中央線「国分寺」駅より西武バス「武蔵野美術大学」行乗車25分「武蔵野美術大学正門」下車すぐ。

JR中央線「立川」駅より立川バス「武蔵野美術大学」行乗車25分「武蔵野美術大学」下車すぐ。

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

### 市ヶ谷キャンパス：

□会期：2026年5月29日（金）～5月31日（日）\*最終日17:00まで

□時間：10:00-20:00（最終日は17:00まで）

□会場：武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス 2階 1/M(イチエム)（東京都新宿区市谷田町1-4）

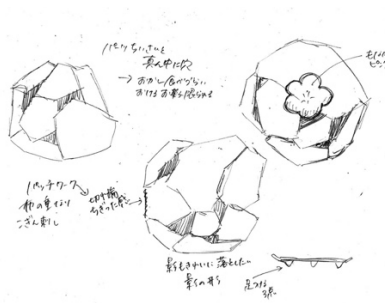
□入場無料・事前予約不要

□アクセス：JR中央・総武線「市ヶ谷」駅下車徒歩3分

東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅、都営新宿線「市ヶ谷」駅4番出口下車徒歩3分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

## 特別ワークショップの開催について



展示と合わせて、クラフトデザインコース陶磁専攻による特別ワークショップを実施いたします。

ワークショップでは、大学で実際に行われている制作プロセスをもとに、板づくり※1と化粧土※2による菓子器制作を体験していただきます。

「制作→焼成→講評→実際に使ってみる」この流れを2回のワークショップで行い、作品を「実際に使うところまで」体験できるプログラムです。専攻の学生が1人ずつ丁寧にサポートいたしますので、安心してご参加ください。

ムサビの陶磁専攻をリアルに体験してみませんか？

□対象：中学生、高校生、本学への進学を検討してる方

□詳細・お申込はこちら：<https://peatix.com/event/4798138/view>

## 第1回ワークショップ

- 日時：2026年5月9日（土）（9:30-12:00 / 13:00-15:30）
- 会場：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 14号館 1階 ろくろ場
- 定員： 午前の部 定員6名 9:30-12:00  
          午後の部 定員6名 13:00-15:30

## 第2回ワークショップ

- 日時：2026年5月16日（土）（10:00-11:30 / 14:00-15:30）
- 会場：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 14号館 地下1階 展示室
- 定員： 午前の部 定員6名 10:00-11:30  
          午後の部 定員6名 14:00-15:30

※1 板づくり…粘土を板状に伸ばし、それを切ったり、曲げたり、貼り合わせたりして形を作る技法。今回は板状の粘土を型にあてて器の形に成形する。

※2 化粧土…粘土を水で溶き、泥状にしたもので、装飾用に使用される。焼く前の器の表面に塗り、筆やスポンジ、スポイトなどで色・質感・模様を加えるために使う。今回は白と黒の2色を使用する。

## 武蔵野美術大学について



Musashino  
Art  
University  
1929-2029  
100th  
美はつづく。

本学創立100周年事業シンボルマーク・コンセプトワード

029年に100周年を迎える武蔵野美術大学は、1929年に創立された「帝国美術学校」を前身とし、「教養を有する美術家養成」「真に人間の自由に達するような美術教育」を教育理念に掲げ、幅広い教養と人間性を有する造形各分野の専門家を養成し、文化の創造発展と社会貢献に寄与してきました。

造形学部と造形構想学部の2学部、絵画、彫刻からデザイン、建築、映像、芸術文化、そして社会イノベーションまで、美術・デザインの広がりに対応する12学科を有し、大学院には造形研究科、造形構想研究科を設置しています。また70年以上の実績を持つ通信教育課程も設けています。日本を代表する美術・デザイン大学として、これまで社会に輩出した卒業生は7万7,000人に上ります。

造形活動を通じて身に付く、正解のない問をたて、探求し、答えを表現する能力は、今の時代にこそ最も必要とされています。卒業生は美術家、デザイナー、建築家、映像作家など、造形各分野の専門家として活躍するとともに、培った創造性、コミュニケーション能力が高く評価され、多くの業界で日本及び世界有数の企業へ就職し、重要な役割を担っています。

武蔵野美術大学 web サイト：<https://www.musabi.ac.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

市ヶ谷キャンパス：連携共創チーム 03-5206-5311

連携共創チーム [social@musabi.ac.jp](mailto:social@musabi.ac.jp)